

改訂日 2021/06/09(04)

改訂日 2021/06/03(03)

## 安全データシート

## 1. 化学品及び会社情報

化学品の名称	バイテック MS マトリックス-CHCA
製品コード	411071
供給者の会社名称	ビオメリュー・ジャパン株式会社
住所	東京都港区赤坂二丁目17番7号赤坂溜池タワー2階
担当部門	薬事部
電話番号	03-6834-2666
FAX番号	03-6834-2667
Website	<a href="http://www.biomerieux.co.jp/">http://www.biomerieux.co.jp/</a>
推奨用途	試薬

2. 危険有害性の要約  
化学品のGHS分類

物理化学的危険性	引火性液体 区分2
健康有害性	急性毒性(経口) 区分4 急性毒性(経皮) 区分4 皮膚腐食性/刺激性 区分2 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 区分1 皮膚感作性 区分1B 特定標的臓器毒性(単回ばく露) 区分3(気道刺激性)
環境有害性	水生環境有害性 長期(慢性) 区分2 上記で記載がない危険有害性は、区分に該当しないか分類できない。

## GHSラベル要素

## 絵表示



注意喚起語	危険
危険有害性情報	H225 引火性の高い液体及び蒸気 H302+H312 飲み込んだ場合や皮膚に接触した場合は有害 H315 皮膚刺激 H317 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ H318 重篤な眼の損傷 H335 呼吸器への刺激のおそれ H411 長期継続的影響によって水生生物に毒性
注意書き	
安全対策	熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。(P210) 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。(P280)
応急措置	皮膚に付着した場合: 多量の水と石鹼で洗うこと。(P302+P352) 吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。(P304+P340) 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。(P305+P351+P338)

皮膚刺激又は発しん(疹)が生じた場合: 医師の診察  
 / 手当てを受けること。(P333+P313)

保管 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておく  
 こと。(P403+P233)

## 3. 組成及び成分情報

## 化学物質・混合物の区別

## 混合物

化学名又は一般名	濃度又は濃度範囲	化学式	官報公示整理番号		CAS番号
			化審法	安衛法	
アセトニトリル	20- $<$ 30%	CH <sub>3</sub> CN	(2)-1508	既存	75-05-8
エタノール	20- $<$ 30%	CH <sub>3</sub> CH <sub>2</sub> O H	(2)-202	既存	64-17-5
2-シアノ-3-(4-ヒドロキシ フェニル)アクリル酸	3- $<$ 5%	不明	不明	4-(4)-1354	28166-41-8
トリフルオロ酢酸	3- $<$ 5%	不明	(2)-1185	既存	76-05-1
物質(その他)	30- $<$ 40%	不明	不明	不明	不明

## 4. 応急措置

## 吸入した場合

気分が悪い時は、医師/中毒110番に連絡すること。  
 吸入した場合、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しや  
 すい姿勢で休息させること。

## 皮膚に付着した場合

呼吸が困難な場合、酸素が必要となる場合がある。  
 皮膚又は髪に付着した場合、直ちに、汚染された衣  
 類をすべて脱ぎ又は取り除くこと。皮膚を流水又は  
 シャワーで洗うこと。

## 眼に入った場合

皮膚刺激又は発疹が生じた場合は、医師の診断、手  
 当てを受けること。

皮膚に少量付着した場合、付着していない皮膚に広  
 がらないようにすること。

直ちに多量の流水で15分以上眼を洗浄すること。コ  
 ンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外  
 すこと。その後も洗浄を続けること。

## 飲み込んだ場合

直ちに医師に連絡すること。

直ちに医師/中毒110番に連絡すること。

口をすすぐこと。

もし嘔吐が起こったら、胃からの嘔吐物が肺に入らな  
 いよう頭部を下げること。

中毒110番の助言なしに無理に吐かせないこと。

被災者が飲み込んだ場合、口移しでの人工呼吸を行  
 わないこと。

被災者に意識の無い場合は、口から何も与えてはな  
 らない。

## 5. 火災時の措置

## 適切な消火剤

粉末消火薬剤、耐アルコール泡消火薬剤、二酸化炭  
 素、霧状水。

## 使ってはならない消火剤

棒状水。

火災時の特有の危険有害  
 性

粉じん又は煙霧は空気と爆発性混合気を形成するお  
 それがある。

蒸気は発火点までかなりの距離を移動し、フラッシュ  
 バックすることがある。

燃焼ガスには、一酸化炭素などの有毒ガスが含まれ  
 るので、消火作業の際には、煙の吸入を避ける。

## 特有の消火方法

火災や爆発の場合、ヒュームを吸入してはならない。  
 通常の消火手順に従う。火災の影響を受ける他の物  
 質の危険性も考慮すること。

周辺火災の場合に移動可能な容器は、速やかに安  
 全な場所に移す。

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置

防火服、防災服、耐火服を着用すること。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

ミスト／蒸気の吸入を避けること。  
作業には、必ず保護具(手袋・眼鏡・マスクなど)を着用する。

環境に対する注意事項  
封じ込め及び浄化の方法  
及び機材

多量の場合、人を安全な場所に退避させる。  
必要に応じた換気を確保する。  
漏出物を河川や下水に直接流してはいけない。  
多量の場合、可能な場合は漏出物をせき止める。吸着剤(土・砂・ウエスなど)で吸着させ容器に回収する。取り除いた後、残りをウエス、雑巾などでよく拭き取る。大量の水で洗い流す。  
少量の場合、吸着剤(土・砂・ウエスなど)で吸着させ取り除いた後、残りをウエス、雑巾などでよく拭き取る。大量の水で洗い流す。  
漏出したものを再使用のために元の容器に戻してはならない。

二次災害の防止策

付近の着火源となるものを速やかに除くとともに消火剤を準備する。

7. 取扱い及び保管上の注意事項

取扱い

技術的対策

『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。

安全取扱注意事項

十分に換気すること。  
静電気放電に対する予防措置を講ずること。  
熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源の近くで取扱い、保管をしないこと。  
直射日光に当てないこと。  
この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。

保管

接触回避

安全な保管条件

安全な容器包装材

ミスト／蒸気の吸入を避けること。  
長時間のばく露を避けること。  
取扱い後はよく手を洗うこと。  
環境への放出を避けること。  
産業衛生に気を配ること。  
『10. 安定性及び反応性』を参照。  
他の物質から離して保管すること。  
容器を密閉して換気の良い場所で保管すること。  
元の容器に密閉して保管する。

8. ばく露防止及び保護措置

	管理濃度	許容濃度(産衛学会)	許容濃度(ACGIH)
エタノール	未設定	未設定	TWA -, STEL 1000 ppm
アセトニトリル	未設定	未設定	TWA 20 ppm, STEL - (Skin)

設備対策

蒸気、ヒューム、ミストまたは粉塵が発生する場合は、局所排気装置を設置する。  
取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。

保護具

呼吸用保護具

手の保護具

眼、顔面の保護具

適切な呼吸器用保護具を着用すること。  
ニトリル製保護手袋を着用すること。  
保護手袋を着用すること。  
保護眼鏡、保護面を着用すること。

皮膚及び身体の保護 保護衣を着用すること。

## 9. 物理的及び化学的性質

物理状態	液体
形状	液体
色	無色透明～殆ど無色
臭い	データなし
融点／凝固点	データなし
沸点又は初留点及び沸点範囲	データなし
可燃性	データなし
爆発下限界及び爆発上限 下限	3% (推定)
界／可燃限界 上限	16% (推定)
引火点	5.6°C (推定)
自然発火点	データなし
分解温度	データなし
pH	データなし
動粘性率	データなし
溶解度	データなし
n-オクタノール／水分配係数	アセトニトリル: -0.34 エタノール: -0.31
蒸気圧	データなし
密度及び／又は相対密度	データなし
相対ガス密度	データなし
粒子特性	データなし
その他のデータ	揮発物濃度: 91.83% (推定) 揮発性有機化合物: 56.18% (推定)

## 10. 安定性及び反応性

反応性	本製品は、通常の使用、保管および輸送条件下では安定かつ非反応性である。
化学的安定性	通常の条件下では安定である。
危険有害反応可能性	一般的な使用条件下では、危険な反応は知られていない。
避けるべき条件	熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。 引火点を超える温度。 混触危険物質との接触。
混触危険物質	強酸化剤
危険有害な分解生成物	危険有害な分解生成物は知られていない。

## 11. 有害性情報

急性毒性(経口)	飲み込むと有害
	エタノール
	トリフルオロ酢酸
急性毒性(経皮)	ラット LD50値: 6.2 g/kg
急性毒性(吸入)	ラット LD50値: 200 mg/kg
皮膚腐食性／皮膚刺激性	皮膚に接触すると有害
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	マウス LC50値: 39 mg/L, 4時間
呼吸器感作性	皮膚刺激
皮膚感作性	重篤な眼の損傷
生殖細胞変異原性	データ不足のため分類できない。
発がん性	アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
生殖毒性	データ不足のため分類できない。
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	データ不足のため分類できない。 データ不足のため分類できない。 データ不足のため分類できない。 呼吸器への刺激のおそれ

特定標的臓器毒性(反復ばく露) 誤えん有害性		データ不足のため分類できない。 動粘性率が不明のため、分類できないとした。
12. 環境影響情報		
水生環境有害性 (急性)	短期	VITEK-MS-CHCA アセトニトリル エタノール
水生環境有害性 (慢性)	長期	
生態毒性 残留性・分解性 生体蓄積性 土壤中の移動性 オゾン層への有害性		甲殻類(ミジンコ) 48時間EC50 : 23800.123 mg/L(推定) 魚類(魚) 96時間LC50 : 3934.8665 mg/L(推定) 魚類(ファットヘッドミノー) 96時間LC50 : >100 mg/L 甲殻類(オオミジンコ) 48時間EC50 : 7.7-11.2 mg/L 魚類(ファットヘッドミノー) 96時間LC50 : >100 mg/L 長期継続的影響によって水生生物に毒性  データなし データなし データなし データなし データ不足のため分類できない。
13. 廃棄上の注意		
残余廃棄物		製品の残余物が残っている可能性があるため、容器が空になった後もラベルの警告に従うこと。 廃棄の前に、可能な限り無害化、安定化及び中和などの処理を行って危険有害性のレベルを低い状態にする。 内容物／容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託すること。 容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。
汚染容器及び包装		
14. 輸送上の注意		
国際規制	海上規制情報	IMOの規定に従う。
	UN No.	2924
	Proper Shipping Class	その他の引火性液体(腐食性のもの) 3
	Sub Risk	8
	Packing Group	II
	Marine Pollutant	applicable
	Liquid Substance Transported in Bulk According to MARPOL 73/78, Annex II, the IBC Code	Not applicable
	航空規制情報	ICAO/IATAの規定に従う。
	UN No.	2924
	Proper Shipping Class	その他の引火性液体(腐食性のもの) 3
	Sub Risk	8
	Packing Group	II
国内規制	陸上規制	毒劇及び劇物取締法の規定に従う。 消防法の規定に従う。
	海上規制情報	船舶安全法の規定に従う。
	国連番号	2924
	品名	その他の引火性液体(腐食性のもの)
	クラス	3
	副次危険	8

容器等級	Ⅱ
海洋汚染物質	該当
MARPOL 73/78 附属書Ⅱ 及びIBC コードによるばら積み輸送される液体物質	非該当
航空規制情報	航空法の規定に従う。
国連番号	2924
品名	その他の引火性液体(腐食性のもの)
クラス	3
副次危険等級	8
緊急時応急措置指針番号	Ⅱ 132

## 15. 適用法令

労働安全衛生法	名称等を表示すべき危険物及び有害物(法第57条第1項、施行令第18条第1号、第2号別表第9)危険物・引火性の物(施行令別表第1第4号)名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条の2、施行令第18条の2第1号、第2号別表第9) アセトニトリル(政令番号:15) エタノール(政令番号:61)
毒物及び劇物取締法	劇物(指定令第2条) 有機シアン化合物及びこれを含む製剤(2-シアノ-3-(4-ヒドロキシフェニル)アクリル酸)
化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)	第1種指定化学物質(法第2条第2項、施行令第1条別表第1) アセトニトリル(政令番号:13)
化審法	優先評価化学物質(法第2条第5項)
消防法	第4類 引火性液体 第一石油類(水溶性)
水質汚濁防止法	有害物質(法第2条、施行令第2条、排水基準を定める省令第1条)
大気汚染防止法	有害大気汚染物質に該当する可能性がある物質(中央環境審議会第9次答申) 揮発性有機化合物(法第2条第4項)(環境省から都道府県への通達)
海洋汚染防止法	油性混合物(施行規則第2条の2) 有害液体物質(X類物質)・油性混合物(施行令別表第1第1号イ(81)) 有害液体物質(Z類物質)(施行令別表第1)
外国為替及び外国貿易法	輸入貿易管理令第4条第1項第2号輸入承認品目「2の2号承認」 輸出貿易管理令別表第1の16の項 輸出貿易管理令別表第2(輸出の承認)
船舶安全法	引火性液体類(危規則第3条危険物告示別表第1)
航空法	引火性液体(施行規則第194条危険物告示別表第1)
港則法	その他の危険物・引火性液体類(法第21条第2項、規則第12条、危険物の種類を定める告示別表)
道路法	車両の通行の制限(施行令第19条の13、(独)日本高速道路保有・債務返済機構公示第12号・別表第2)
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	特別管理産業廃棄物(法第2条第5項、施行令第2条の4)
特定有害廃棄物輸出入規制法(バーゼル法)	特定有害廃棄物(法第2条第1項第1号イ、平成30年6月18日省令第12号)

水道法	有害物質(法第4条第2項)、水質基準(平15省令101号)
下水道法	水質基準物質(法第12条の2第2項、施行令第9条の4)
土壤汚染対策法 化学兵器禁止法	特定有害物質(法第2条第1項、施行令第1条) 有機化学物質(法第29条1、施行令第4条1)
16. その他の情報 連絡先	【臨床製品 問い合わせ先】0120-265-034 【産業製品 問い合わせ先】0120-022-328
参考文献	NITE-CHRIP(独立行政法人 製品評価技術基盤機構 化学物質総合検索システム) JIS Z 7253 :2019 GHSに基づく化学品の危険有害性 情報の伝達方法-ラベル, 作業場内の表示及び安全 データシート(SDS) bioMérieux SA 製品SDS(2019-06-27) ezSDS
その他	記載内容は、一般に入手可能な情報及び自社情報 に基づいて作成しておりますが、現時点における化 学又は技術に関する全ての情報が検討されてい るわけではありませんので、いかなる保証をなすもの ではありません。また、注意事項は、通常の取り扱いを 対象としたものです。特殊な取り扱いの場合には、こ の点のご配慮をお願いします。